

上神明 天祖神社 報

第190号 平成25年11月1日



宮司就退任の御挨拶

謹啓 晩秋の候 益々御清祥の御事とお慶び申し上げます。
此度、天祖神社宮司を退任し、名誉宮司に推挙されました。

蛇窪大明神様の御加護のもと宮司として五十七年間に亘り恙無く神明奉仕に努め、今般の御鎮座六百九十年・上下分村三百七十年・そして巳年に当たる蛇窪大祭の諸祭儀も滞りなく齋行することが出来ましたことは、氏子崇敬者の格別なる御尽力の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。

尚、後任宮司には禰宜 齊藤泰之が就任いたしますので、今後とも私同様に御厚情を賜りますようお願い申し上げます。

先ずは右、略儀ながら寸楮を以って退任の御挨拶を申し上げます。

敬白

平成二十五年十一月吉日

齊藤篤信

謹啓 晩秋の候 益々御清祥の御事とお慶び申し上げます。

此度、十月一日付を以って、神社本庁より、天祖神社宮司の重任を拝命いたしました。

もとより浅学菲才の上に、甚だ若輩者ではございますが、この上は御神威を畏み、御加護を仰ぎ、御神徳の発揚と御社頭の隆昌に力を尽くす所存でございます。

何卒、今後とも格別なる御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

右、略儀ながら寸楮を以って就任の御挨拶を申し上げます。

謹白

平成二十五年十一月吉日

天祖神社 宮司 齊藤泰之

新嘗祭

御神前に今年収穫した新穀をお供えし、五穀豊穰を感謝して、その収穫を喜びあうのが新嘗祭です。最も重要なお祭りのひとつで、氏子総代の御参列のもと厳粛に行われます。

この新穀を御新米として初詣に参拝なされた方々三千所帯分お分けいたします。

東京都神社総代会

設立五十周年記念

名誉総代 松井清一氏表彰される

東京都神社関係者大会が、十月二十四日(木)明治神宮会館に於いて開催されました。

松井清一様には、多年に亘り神社の維持運営に多大なる貢献をされて、その功績を称えられました。

誠におめでとうございました。

氏神様はいつもあなたを

「ご加護下さっておられます」

敬神崇祖をまもりましょう

敬神崇祖とは、神を敬い先祖を崇ぶことです。それは、先祖からいただいている数限りない恩恵に感謝する心です。

感謝して生活する人は、問題や悩みが起きたとしても、それは自分を成長するためにご先祖様から与えられた試練と受け取り、自己反省し心直しに励むことが出来る人です。人生に対してこうした前向きな姿勢で生きる人は、どのような問題や悩みがあっても、必ずや問題を解決する糸口を見つけ、解決していくことが出来る人であります。

生命の言葉(十一月)

朝よいに物くふごとくに豊宇気の 神の恵みをおもへ世のひと

本居 宣長

朝も夕も食べ物をいただくたびに食べ物の神様である。豊受大神の恵みに感謝すべきである。

本居宣長(もとおりのりなが)

一七三〇—一八〇一年

江戸時代の国学者、地元伊勢国松坂で医師をするかたわら、古事記の注釈書「古事記伝」を著するなど、純粋な日本独自の文化を研究する学問、「国学」を大成した。

初宮参り

平成二十五年四月以降、初宮参りに当社をご参拝なされた方々のご芳名を列記し、神様のご加護を心よりお祈り申し上げます。

澤橋 湧様	山崎真緒様	田村勇雅様
高橋 観様	長南美弥様	大野恰央奈様
柴田功就様	戸谷心春様	幡鎌明梨様
島田 樹様	澤田理都様	田中海槻様
竹下星那様	坂本直樹様	飯塚宇美様
瀬田歩未奈様	人見碧斗様	新田潤之助様
倉田みのり様	加藤ゆい様	木村 花様
仁木優波様	河上銀雅様	

平成二十五年年度維持費御納入の

お願い及び納入方法の変更について

例年皆様より御拠出いただいております維持費は、上神明天祖神社の維持運営管理費として、主に儀式費・神饌費・公課・光熱費等に充てられている費用で、その収支につきましては例年社報にてご報告申し上げているところでございます。

この維持費により、上神明天祖神社の安定的な尊厳維持が図られ、伝統あるよき氏神さまへの信仰が継承されると考えております。つきましては、出費のかさむ折柄、誠に恐縮ではございますが何卒御納入いただければ幸いです。

なお、本年より神職及び二葉四丁目町会は岡保幸様・豊町六丁目町会は中島貞子様が直接お問い合わせをさせていただきます。

平成二十五年 蛇窪大祭奉納者ご芳名

特 志

浅草神社
下神明神社
太田神社

拾参萬円

二葉四丁目町会
二葉六丁目町会
戸越六丁目町会
豊町五丁目町会
二葉三丁目町会

五萬円

S M K(株)
会長 中村 哲也
社長 池田 靖光
光陽産業(株)
会長兼社長
大山 忠一

参萬円

松井清一
五町会連合
草柳洋一
森谷智行

式萬円

高橋友一
伏見稻荷社
幸田 與志郎
露天商一同

老萬円

千葉雅雄
小林政敏
上村和雄
蔦井組
太田明
谷川寛

御神酒

小 山 将 義
矢 羽 直 公
柴 田 よ し 子
温 井 賢 伸
吉 田 吉 末
佐 藤 武 利
鈴 木 忠 雄
川 島 忠 雄
蛭 間 治 勲
武 内 達 治
二 葉 四 睦 会
豊 六 睦 会
戸 越 六 睦 会
二 葉 五 睦 会
上 二 葉 三 睦 会
上 丸 正 會
庄 司 國 之
鯨 司 國 之

五千元

遠 藤 正
平 澤 晴
加 藤 豊
川 島 岸
金 省 太 郎
井 淵 良 浩
川 島 浩
磯 昭 夫
小 宮 進
庄 司 眞 佐 恵
佐 波 貴 金 属 店
菊 池 達 三

参千元

山 田 孝 子
桜 井 卓 武
本 橋 武 和
戸 越 魚 和
魚 伊 佐 野
相 川 樂 蘭
本 間 自 転 車 店
高 瀬 照 男
白 菊 美 容 室
青 木 雪 子
二 葉 四 丁 目 福 寿 会
川 瀬 次 夫
富 士 見 台 中
水 口 春 幸
富 田 淡 澄 美
岩 下 正 志
御 菓 子 司 越 路
市 野 倉 睦
尾 内 正 行

式千元

山 田 孝 子
桜 井 卓 武
本 橋 武 和
戸 越 魚 和
魚 伊 佐 野
相 川 樂 蘭
本 間 自 転 車 店
高 瀬 照 男
白 菊 美 容 室
青 木 雪 子
二 葉 四 丁 目 福 寿 会
川 瀬 次 夫
富 士 見 台 中
水 口 春 幸
富 田 淡 澄 美
岩 下 正 志
御 菓 子 司 越 路
市 野 倉 睦
尾 内 正 行

御神米

本 吉 正 夫
芦 澤 恒 治 明
金 子 恒 治 明
押 田 一 子
石 橋 良 一

御菓子

太 田 神 社
高 橋 友 一
伏 見 稻 荷 社
幸 田 與 志 郎
露 天 商 一 同
千 葉 雅 雄
小 林 政 敏
上 村 和 雄
蔦 井 組
太 田 明
谷 川 寛

御神酒

山 田 孝 子
桜 井 卓 武
本 橋 武 和
戸 越 魚 和
魚 伊 佐 野
相 川 樂 蘭
本 間 自 転 車 店
高 瀬 照 男
白 菊 美 容 室
青 木 雪 子
二 葉 四 丁 目 福 寿 会
川 瀬 次 夫
富 士 見 台 中
水 口 春 幸
富 田 淡 澄 美
岩 下 正 志
御 菓 子 司 越 路
市 野 倉 睦
尾 内 正 行

御神米

本 吉 正 夫
芦 澤 恒 治 明
金 子 恒 治 明
押 田 一 子
石 橋 良 一

御菓子

太 田 神 社
高 橋 友 一
伏 見 稻 荷 社
幸 田 與 志 郎
露 天 商 一 同
千 葉 雅 雄
小 林 政 敏
上 村 和 雄
蔦 井 組
太 田 明
谷 川 寛

第六二回神宮式年遷宮

遷御の儀を奉拝して

神社新報十月二十一号より
ジャーナリスト 桜井よし子

日本人の原点

二十一年に一度の式年遷宮に参列の機会を得たことは、私にとって生涯の喜びだった。
深い森の中、樹木の木の下の参列者用の椅子に座った時から心は古くより日本をお守り下さる神々の存在を感じとろうと研ぎ澄まされていた。

日が陰り神様のお渡りになる一連の式が始まると、静寂のなかで鹿が鳴いた。ふくろうや名も知らぬ鳥の声も響き渡った。

闇夜に灯りが浮かび、絹の布で囲まれた神様が古いお社をお出になるとき、静かだった森が突然揺れた。頭上高く繁る枝を風が渡った。神様が古いお社から移られる。神様は確かにいらつしやると感じた瞬間だった。

感動の内の一連の式は終わった。二十一年間の日のために準備を重ねてきた人々、そしてこれからまた二十一年間、次の準備に取りかかる人々、そのような人々の集合体としての日本民族を、神道の神々様が見守って下さることを実感した。日本人の原点を体験したとの充足感に浸ったことだった。

人には皆その人でなければ
ならない仕事や使命がある

月次祭

毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。当日は御神前にて祭儀を厳修し参列者一同で「大祓詞」を奉唱し、次いで社務所において「朝粥」を食し歓談いたします。

★九月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、磯 昭夫様、高須みちよ様、柵木ヒサ様、青柳富子様、井渕良子様、富田登美子様、柴田よし子、白土政枝様、福岡由江様、笹原好夫様、笹原あさみ様、田中慶子様、吉川トミ様

★十月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、磯 昭夫様、高須みちよ様、白土政枝様、青柳富子様、岡部美樹様、柵木ヒサ様、富田登美子様、井渕良子様

おかげさまと云う言葉

「おかげさま」は漢字で書くと「御陰様」です。この「陰」とは、太陽の光に当たったときにできるあの「陰」に通じ他人から受ける利益、また、神仏など偉大なものからいただく恩恵をさしております。

生活の中で学ぶ大切なもの

— 失敗は成長のもと —

私たちは、生きる中で多くの失敗を経験します。失敗は辛いことですが、私たちに多くの学びを与えてくれます。

失敗した時に大事なことは「次は同じ間違いを繰り返さない」ことです。特に相手に迷惑がかかることなら、なおさらです。

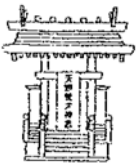
そのために、しっかりと原因を見つめ改善点を探し出す必要があります。もし自分が忘れっぽい性格だと気付いたならば、メモ書きして目につく場所に貼るなど、原因を探り自分に合った対処法を見つけ出すことです。

このように、失敗はその時の自分の欠点や癖を教えてくれるものでもあり、あとはそれを自分に変えていけばいいのです。失敗を悔やむより、その失敗から学んだことを基にリベンジ(再挑戦)しましょう。そこを克服して自信がつけば、また新たにチャレンジできるようになり一回りも二回りも成長するでしょう。

神棚をおまつりしましょう

簡単に取り付けることの出来る

宮型がございます



各地区敬老クラブ境内清掃奉仕

毎月十日各地区老人クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月も各地区より皆様が集まり境内の清掃奉仕なさって下さいました。誠に有難うございます。

九月十日ご奉仕なされた方々のご芳名

豊町六丁目 原野 孝通様、若山美智代様
二葉三丁目 杉本登久江様
豊町五丁目 塚田サチ子様、窪田英美子様
二葉四丁目 渡辺 秀子様、小島 幸子様
戸越六丁目 小田三千子様、広瀬ひろ子様

十月十日ご奉仕なされた方々の御芳名

二葉三丁目 庄田 アヤ様、池田不二江様
豊町六丁目 飯田 民子様、岡村 幸子様
戸越六丁目 角木千鶴子様、佐久間初子様
二葉四丁目 眞川功四郎様、西村アサノ様
豊町五丁目 浜野すみ子様、千葉 昭夫様

天祖神社々務所

〒一四二—〇〇四三
東京都品川区二葉四—四—十二

TEL 〇三(三七八二)一七一—

FAX 〇三(三七八二)一七一—

http://www.etsujin.jp

蛇窪